

## NEWS RELEASE

平成19年9月27日

市光工業株式会社

ICK007

### 市光工業株式会社

トラックやバスなどの大型車両の死角をカメラとセンサーで  
より鮮明に表示する「<sup>セーフティー ビジョン</sup>SAFETY VISION ST-500」を

10月1日より発売

～夜間でも車両後部を鮮明に確認できる安全性を高める新システム～

市光工業株式会社（本社：品川区五反田、代表取締役社長：市川 侑男、以下市光工業）では、トラックやバスなどの大型車両の後方部分を確認するためのルームミラー型後方確認システム「<sup>セーフティー ビジョン</sup>SAFETY VISION ST-500」を10月1日より発売します。

市光工業が発売する「<sup>セーフティー ビジョン</sup>SAFETY VISION ST-500」は、車両の後方部分にカメラを搭載させ、確実に被写体を映し、運転手がルームミラー型モニター画面を通して状況を確認することができるシステムです。鮮明にカラー表示される「昼間走行モード」や「夜間走行モード」に加え、暗いところでも映像が鮮明に映る「白黒モード」が搭載されています。従来は、夜間においてテールストップランプの赤い色がにじみ、見えにくい画像でしたが、搭載されている「白黒モード」に切り替えることにより、映像がより鮮明に映るようになりました。また、運転手が映像を確認するモニター前面に、操作ボタンが配置されたため、従来の製品に比べ走行中でも操作が容易になり、夜間走行時はもちろん、駐車をする際に人物や障害物などを明確に認識することで、事故防止に一役買う商品です。

車両の後方のみを監視する基本セットには解像度 33 万画素相当の専用のモニター、カラー標準カメラ、中継ケーブル(20m)のセットで 114,240 円（税込み）にて発売します。さらにオプションで車両の左右に設置してさらなる安全を図る補助カメラは 40,950 円（税込み）、セレクターは 26,250 円（税込み）にて販売します。これらの製品は全国のトラック販売会社にて提供します。

なお、市光工業では、「<sup>セーフティー ビジョン</sup>SAFETY VISION ST-500」を月当たり 2,000 セットの販売を見

世界の技術光源になる

**ICHIKOH**

(このニュースリリースは森林保護のために再生紙を使用しています。)

込んでいます。

(参考)

市光工業株式会社（以下、市光工業）は、1903年の創業以来、自動車用ランプとミラーの純正専門メーカーとして、トヨタや日産をはじめとする国内すべての自動車メーカー及びGMやダイムラークライスラーなどの海外主要自動車メーカーに製品を納入してきました。その歴史は長く、1932年には初代ダットサン（日産）ヘランプを装着し、日本初のプロジェクターヘッドランプや世界初の電動格納ミラー、また、次世代の光源として注目されてるい HID ヘッドランプなど独自の製品開発を主体的に行ってきました。これらの製品開発により、今日では国内において、自動車用ランプで23%、ミラーで26%といった大きなシェアを誇っています（2006年実績）。

<本件に関するお問い合わせ先>

一般の方からの問合せ先

市光工業株式会社  
広報担当 金子  
TEL: 03-3443-7281

報道関係からの問合せ先

市光工業株式会社  
広報担当 金子  
TEL: 03-3443-7281

(株)VAインターナショナル  
田中/川崎

TEL: 03-3499-0016  
FAX: 03-3499-0017

## 概要



商品名： SAFETY VISION ST-500 (セーフティー ビジョン)

商品梱包内容： モニター  
専用ステー  
電源ケーブル  
小物部品

販売価格： ¥114,240 (税込み)

販売店： 全国トラック販売会社